

第1回 臼杵市都市計画マスタープラン市民検討会 Newsletter

策定から10年経過した「臼杵市都市計画マスタープラン」の見直しを実施するにあたり、市民の皆様からの意見を反映させ、新たな都市計画マスタープランを改訂するため市民検討会を開催しています。

～ 開催目的と意義 ～

- 都市計画マスタープランの改訂に繋がる市民意見を広く集めます。
- 少子高齢化が進み、防災意識が高まる状況において、「住み心地一番のまちづくり」、「災害に強いまちづくり」に関する意見を集めます。
- 臼杵市のまちづくりについて「臼杵市全体」、「お住まいの地域」に関する意見を集めます。

～ 今後の日程とスケジュール ～

回数	テーマ	日程
第1回	臼杵市の特徴を話そう	8月5日(日) 9:30～
第2回	少子高齢社会のまちづくり	9月1日(土) 13:30～
第3回	活力や歴史の感じられるまちづくり	11月4日(日) 9:30～ (又は13:30～)
第4回	災害に強いまちづくり	12月2日(日) 9:30～ (又は13:30～)
第5回	住んでいる地域のまちづくり	1月20日(日) 9:30～ (又は13:30～)
第6回	まとめ	2月17日(日) 9:30～ (又は13:30～)

都市計画マスタープランとは？

人や物の動き、土地の利用のしかた、公共施設の整備などについて将来の見通しや目標を明らかにし、将来のまちをどのようにしていきたいかを定めるものです。

～ 当日の様子 ～

日時:平成30年8月5日(日)9時30分～

場所:臼杵市庁舎203・204会議室

参加者:市民 31名

1. 開会

副市長挨拶



■ 開会 (副市長挨拶)

- 南海トラフ地震をはじめとする自然災害の発生や少子高齢化による人口減少が進行しています。
- 自然災害、少子高齢化、人口減少の大きな課題を反映させ、新しいマスタープランを作る重要な時期です。

2. 臼杵市の現況について

都市計画マスタープランの説明



■ 臼杵市の現況について

「人口減少や高齢化の進行状況、土地利用、都市計画マスタープランの概要や改訂について」説明しました。

3. グループワーク

臼杵あるあるについての話し合い



■ ファシリテーター紹介

皆さんの意見をまとめていくファシリテーターには、これまで数多くの「まちづくりに関する意見集約」を行ってきた田坂さんに務めて頂きました。

4. 閉会

次回の予定

～ グループワークの進め方 ～

1回目の席: 自己紹介、臼杵あるあるについて話し合い

↓ 席替えタイム

2回目の席: 臼杵あるあるについて話し合い

↓ 席替えタイム

3回目の席: 臼杵あるあるの中で「これ大事!」と思うことについて話し合い

↓ 席替えタイム

4回目の席: 1回目の席に戻り、2,3回目で出た話の中でキーワードを持ち寄り、話し合い

ワールドカフェ方式によるグループワーク

- 4人1組で席に着く。
- 一定時間(今回は10分)で、1人(進行役)を残して、席を移動する。進行役は移動してきた方にそのテーブルで話し合った内容を伝える。
- 紙に意見や新たなアイデア、知識を書く。
- 参加者全員で情報を共有する。

話し合い風景



席替えタイム



意見集約



今回のワールドカフェでは「臼杵市の特徴(臼杵あるある)」について話し合いをしました。意見集約した結果、I、PDCA、II災害、III少子化(高齢化)、IV活性化・魅力に分類分けできました。

～ ワールドカフェの収穫 ～

I. PDCA

■マスタープラン策定後のPDCA

・今回のマスタープランをムダにしない!! PDCAが大事
・お金がない!で終わらせない。

- ・マスタープランができても予算がないで片づけられない。
- ・必要なものは作る方向で行う。
- ・計画倒れしないようにする。

R → P D C A
リサーチ プラン ドゥー チェック アクション
Do → 結果 → 失敗、成功

10年後に30%位実現できる様なプランを作成

- ・お金(予算)がないで済ませない。
- ・10年でできるような...せめて30%は実施

II. 災害

■災害に強いまちづくりの指標

災害に強いまちづくりの指標

災害や非常時に徒歩にて対応できる職場近くに住む方の近場手当を支給

教育!子育て!充実で若者、定着を考える 空き家 婚活
高度医療のできる施設作りが大切 子育て...病気になるれない
住む場所が少ない 耕作放棄地→団地(小郡を例に)
住宅手当などで住む人を増やす工夫 受け入れることが大切 住む場所→住宅手当

III. 少子化(高齢化)

■住宅供給(若者の受け入れ)

- ・少子化のポイントは若者の定住→定住できる環境はあるか?
- ・廃校の活用→プール&シェアハウス
- ・空家バンクの活用→若者の受入

若者の定住がなければ少子化対応は不可 田舎
住む所、若者定住→空き家、団地 若者の受け入れ

IV. 活性化・魅力

■花火大会を!

- 花火大会 負と思うところを売り出す
- 花火大会のない街
- 花火大会で元気な臼杵にしよう
- 花火大会のない市
- 花火大会などをして元気な臼杵をアピールしたい

■食・観光・自然

- 資源を活用できていない(石仏、城下町) 食べ物
- ホテル、かんしょう、民泊で 食と文化と自然豊かな
- 多くの魅力 ⇄ 分散(食・観光) 自然がとてもしない
- ・臼杵石仏をもっと観光に生かす
- ・臼杵市民全体がこぞって参加できる催し
- ・観光客への食べ物を
- ・ほたる
- ・祭
- ・食べ物
- 人が集まる場所作り、健康づくり(市民プールなど整備)
- ・臼杵駅から石仏への町づくり
- ・ホテル
- ・自然の有効活用(ホテル・星・民泊)
- ・自然
- ・自然に合わせた街づくり
- ・臼杵石仏

佐志生地区に防災拠点を含めた「道の駅」を建設(海、山の幸等の販売とヤル気作り)
臼杵の名産はふぐ カボス、臼杵煎餅 など 観光地いろいろある、食(魚、野菜)

■インターチェンジ、ジャンクション、交通計画

- ラウンドアバウト、インターチェンジ、ジャンクション
- インターチェンジ、ジャンクション、周囲 にお金を落とす工夫
- に町ができる道→人が集まる→お金 インフラを整備することが解決ではない
- ・インターチェンジ、ジャンクション
- ・九六位バイパス(大分まで10分)
- フェリー⇄インター間でお金を落としてもらう何かを作る

■車による不便の解消と

- 車のいないまちづくりについて 九六位にトンネル(大分に近い道)
- 車のいない街 臼杵駅から、石仏への道路 大分まで駅かフェリー
- 道路整備 車がないと不便 フェリー基地と交通
- 車のいないまちづくり 車がないと不便 道のみなおし→渋滞・交通の流れを分散

※インターチェンジ...高速道路の出入り口 ※ジャンクション...複数の高速道路を接続する施設 ※ラウンドアバウト...信号機がない円形交差点

次回9月1日(土)は「III少子化(高齢化)」について話し合いを行います。様々な市民検討会の意見を集約し、臼杵市都市計画マスタープランへと反映させていきます。

お問い合わせ先 臼杵市都市デザイン課 担当:藤澤・竹尾 電話:(0972)63-1111 FAX:(0972)63-1316
〒875-8501 臼杵市大字臼杵72-1 E-mail:uc-design@city.usuki.oita.jp